

## 整備事業評価書(強い農業づくり交付金)

(都道府県名: 静岡県)

政策目的	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	14	0	14	63.2	6	有	<p>果樹、茶改植事業については、1事業を除き目標達成しており、十分な事業効果が得られた。</p> <p>防霜ファン施設整備については、適切な栽培管理や早期成園化技術により目標達成されるように支援、指導していく。</p> <p>果樹類の集出荷施設については、振興品種やブランド品種の出荷割合を増加させるよう早期に改植等を推進するとともに、上位規格品の増加に向け肥培管理を徹底し安定的な生産を指導する。</p>	<p>果樹の集出荷貯蔵施設のうち4地区及び茶の農作物被害防止施設2地区について、成果目標の達成状況が悪く、事業効果が得られていない。</p> <p>果樹の集出荷貯蔵施設については、振興品種やブランド品種の栽培割合や出荷割合が増加していないことから、改植等の推進により振興品種やブランド品種以外の既存品種からの早期転換を図る。また、上位規格品種の割合が事業計画時点より減少している地区については、事業計画時点における栽培指針も参考にしつつ、近年の異常気象への対応方を踏まえた栽培指針を作成の上、栽培指針に沿った肥培管理を徹底する必要がある。</p> <p>茶の農作物被害防止施設については、適切な剪定や肥培管理を行う事で早期成園化に努めるとともに、台切り更新を行う原因となった干ばつ、塩害への対策に関する技術指針を周知・徹底し、被害の未然防止に努めつつ、被害が生じた際には適切な対策により被害を最小化出来る生産体制の構築が必要である。</p> <p>県に対しては目標達成のための改善措置の内容と成果の報告を求める。</p>
食品流通の合理化								

(注) 1. 「成果目標の平均達成率」欄は、別紙様式2に記載された率について確認の上、転記する

2. 「都道府県による総合所見」欄は別紙様式2に記載された内容を確認の上、転記する







都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業（平成23年度実施事業）

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

（静岡県 平成26年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)				達成率	計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)					目標値(平成25年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他	
				沼津市	南駿農業協同組合	果樹(柑橘)	【畑作物・地域特産物(柑橘)】全出荷量に占めるブランド品「寿太郎温州」の割合を増加させる。	40.0%				—	41.3%	44.2%	49.3%	45.1%					全出荷量に対するブランド品種である寿太郎うんしゅうの割合は全体の44%を越えているが、目標に対し、45%の達成率とその増加率は低い。	果樹(柑橘)	【畑作物・地域特産物(柑橘)】全出荷量に占める振興品種「日南1号・ゆら早生・はじめ・寿太郎温州」の割合を増加させる。	45.2%					—	49.1%	54.3%
静岡市	清水農業協同組合	果樹(柑橘)	【果樹(柑橘)】全出荷量に占める上位規格品(秀品)の割合	30.7%	—	18.1%	15.1%	46.5%	-98.8%	全出荷量に占める上位規格品の割合15.1%	果樹(柑橘)	【果樹(柑橘)】全栽培面積に占める振興品種「日南1号、ゆら早生、興津早生、宮川早生、青島系温州、寿太郎温州、はるみ、スルガエレガント、こん太」の割合	81.2%	—	81.9%	83.1%	97.0%	12.0%	全栽培面積に占める振興品種の割合83.1%	耕種作物共同利用施設 集出荷貯蔵施設 建物 鉄骨2階造り 選果設備 荷受設備 製品ラインコンベア パッキング設備 ケース自動倉庫システム 制御システム 情報システム	674,430,750	321,157,000		353,273,750	H24.12.19	平成23年度(平成24年度繰越し)に実施計画どおり適切に施設整備がなされた。全出荷量に占める上位規格品の割合は、異常気象や台風の影響により風傷果やかきよう病等が多く発生したため、達成率が低かった。振興品種の割合は、378haが振興品種に改植されたが、一部の品種(太田ボンカン、不知火等)は、共選場取扱品目であるため改植が進まず目標達成することができなかった。	上位規格品の割合については、気象の影響で、病害虫の発生が多く、上位規格品の割合が低下したため、目標達成することができなかった。今後は、生産管理の指導を強化させ、目標達成に努める。振興品種の割合については、一部基盤整備工事の遅れもあり、目標達成できなかった。今後は、改植事業の活用により振興品種の割合を増加させる。				

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業（平成23年度実施事業）  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

（静岡県 平成26年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別算組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
牧之原市	涼松防霜施設組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】防霜対策未実施面積における防霜対策の実施	0ha	—	5.68ha	5.68ha	5.68ha	100.0%	防霜対策未実施面積における防霜対策を100%実施	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】10a当たり単収の増加	836kg/10a	—	—	0kg/10a	1100kg/10a	-316.6%	目標年度での成園化ができず、-317.5%の達成率であった。		耕種作物共同利用施設 農作物被害防止施設 5.68ha	25,515,000	12,757,000			12,758,000	H24.12.26	凍霜害により生育が阻害されないように防霜ファンの設置を行ったが、平成24年6月の台風4号の塩害により被害を生じた。その後も樹勢が戻りきらず生育が芳しくない状況だったので、台切り更新による管理を施した。これらにより、目標年度での成園化ができず目標達成が困難な状況となった。今後は適切な栽培管理によって成園化を図り、目標達成を目指す。	防霜ファンの設置により凍霜被害から茶園を守る茶園環境が整備できたが、台風による塩害の影響を受け成園化ができなかった。今後は、茶園が成園となり、目標が達成されるように支援していく。	
牧之原市	ナルコ原防霜施設組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】防霜対策未実施面積における防霜対策の実施	0ha	—	5.89ha	5.89ha	5.88ha	100.2%	防霜対策未実施面積における防霜対策を100.2%実施	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】10a当たり単収の増加	836kg/10a	—	—	0kg/10a	1100kg/10a	-316.6%	目標年度での成園化ができず、-317.5%の達成率であった。		耕種作物共同利用施設 農作物被害防止施設 5.89ha	23,835,000	11,917,000			11,918,000	H24.12.26	凍霜害により生育が阻害されないように防霜ファンの設置を行ったが、夏季の干ばつや塩害により、生育に影響が出たため、生育を促すため台切り更新による管理を施した。これらにより、目標年度での成園化ができず目標達成が困難な状況となった。今後は適切な栽培管理によって成園化を図り、目標達成を目指す。	防霜ファンの設置により凍霜被害から茶園を守る茶園環境が整備できたが、夏季の干ばつや塩害の影響を受け成園化ができなかった。今後は、茶園が成園となり、目標が達成されるように支援していく。	
浜松市	三ヶ日町農業協同組合	果樹(柑橘)	【果樹(柑橘)】全出荷量に占める上位等級(特選・秀品)の割合を増加させる。	20.3%	—	29.9%	40.6%	35.3%	135.3%	目標に対して135.3%の達成率を上げることができた。	果樹(柑橘)	【果樹(柑橘)】「マルエム三ヶ日みかん」(糖度10度以上、酸1.2以下)の出荷割合を増加させる。	80.9%	—	85.7%	88.1%	90.9%	72.0%	目標に対して72.0パーセントの達成率にとどまった。		果樹 耕種作物共同利用施設 集出荷貯蔵施設 選果機(45条4系列)	845,439,000	402,590,000			442,849,000	H24.9.28	三ヶ日みかんの出荷量のうち「マルエム三ヶ日みかん」の出荷量が占める割合に関しては、個別面談を実施し、担い手の経営支援及び規模拡大を図るとともに農地銀行を利用し、担い手への園地流動化を促進させる。	出荷物の上位等級率の割合については、向上がみられており、事業効果が現れている。「マルエム三ヶ日みかん」の占有率拡大については、担い手の規模拡大や園地流動化を今まで以上に積極的に行っていく必要がある。	

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業（平成23年度実施事業）  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

（静岡県 平成26年度）

市町村名	事業実施主体名	メ ニュー ①  (対象 作物・ 畜種等 名) ①	成果目標の 具体的な内 容①	事業実施後の状況①					成果目 標の具 体的な 実績①	メ ニュー ②  (対象 作物・ 畜種等 名) ②	成果目標の 具体的な内 容②	事業実施後の状況②					成果目 標の具 体的な 実績②	特別 枠加 算の 取組 の具 体的 な実 績	事業内容  (工種、施設区分、構 造、規格、能力等)	事業費  (円)	負担区分(円)				完了 年月 日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時 (平成 22年)	1年後 (平成 23年)	2年後 (平成 24年)	3年後 (平成 25年)	目標値 (平成 25年)				達成率	計画時 (平成 22年)	1年後 (平成 23年)	2年後 (平成 24年)	3年後 (平成 25年)					目標値 (平成 25年)	達成率	交付金	都道府 県費					市町村 費	その他
				浜松市湖西市	とびあ浜松農業協同組合	果樹(柑橘)	【果樹(柑橘)】取扱量の上位規格品(L・M・S)の割合を増加させる。	75.6%				—	84.4%	71.4%	88.6%	-32.3%					目標に対して-32.3%の達成率にとどまった。	果樹(柑橘)	【果樹(柑橘)】全栽培面積に占める振興品種の割合を増加させる。	8.4%					—	10.4%
浜松市湖西市	とびあ浜松農業協同組合	果樹(柿、梨、中晩柑)	【果樹(柿、梨、中晩柑)】浜松次郎柿ブランドの出荷割合を増加	88.7%	—	96.3%	97.3%	96.0%	117.8%	目標に対して117.8%の達成率を挙げることが出来た。	果樹(柿、梨、中晩柑)	【果樹(柿、梨、中晩柑)】中晩柑「はるみ、不知火、せとか」の全出荷量に占める推奨品種の割合を増加	27.1%	—	44.4%	45.3%	43.8%	108.9%	目標に対して108.9%の達成率を挙げることが出来た。	果樹 耕種作物共同利用施設 集出荷貯蔵施設 柿梨選果場	104,989,500	49,995,000			54,994,500	H24.7.31	摘蕾、摘果指導により高品質果実の出荷割合の維持が図られた。非破壊センサー、カラーグレーダーの導入により品質の安定した商品の販売が可能となり、ブランド強化が図られ、成果目標も達成できた。	今後も摘蕾、摘果指導等を行い、高品質果実の生産を行っていただく必要がある。また、非破壊センサー、カラーグレーダーについても積極的に活用して品質を安定させ、ブランド強化を図っていく必要がある。		

都道府県平均達成率	63.2%	総合所見	果樹、茶改植事業については、1事業を除き目標達成しており、十分な事業効果が得られた。防霜ファン施設整備については、適切な栽培管理や早期成圃化技術により目標達成されるように支援、指導していく。果樹類の集出荷施設については、振興品種やブランド品種の出荷割合を増加させるよう早期に改植等を推進するとともに、上位規格品の増加に向け肥培管理を徹底し安定的な生産を指導する。
-----------	-------	------	---

